



## 高尾山の生きものたち

## ムカシトンボ

## (ムカシトンボ科)

「生きた化石」と呼ばれるトンボがとまっていた。高尾の沢沿い、地面近くの枝に、羽化したばかりのようでじっとしていた。長5cm程で黒地に黄色い斑があり、透明の翅を閉じている。中型のサナエトンボ類に似ているが、前後の翅がほぼ同じ形で小形のイトトンボ類の特徴があり、これら二つの系列の特徴を両方持つ、単独の系統の珍しいトンボだ。

山間の森を流れるきれいな水の溪流沿いに、4～5月頃成虫が発生し、水辺の植物に産卵する。幼虫は、水中の石の間などに棲み、5～8年を過ごした後、上陸し、羽化する。川の中の環境が長い間安定していないと、成虫になれないわけだ。森で守られてきたきれいな溪流が、この化石と言われるトンボの命をつないでいる。

(写真・文 森林インストラクター 藤原 裕二)



## 富ちゃん Ⅲ ちゃん

## NO.43



## 樽【ナラ】

## (ブナ科コナラ属)

日本全域の山地に生育していて、高尾ではコナラを多く見かけます。

高木の落葉樹で、ドングリはリスなどの野生動物の重要な食料となります。ドングリは食べられるだけではなく、食料として貯蔵のために土中に埋められたものが食べ忘れられることにより、芽を吹き更新や分布の拡大がなされています。

名前の由来は、若枝のしなやかさが、古語のしなやかなる様をいう「なやらか」や、踏みならし平らになった様の「ならやま」からナラの葉が広く平らな様からきたなどの説があります。

材質は、重硬で強度が大きく、用途としては、床板、合板、内装、建具、家具、桶、樽、欧風棺、洋酒樽などに加工されています。

製材技術の発達していない、昔の日本では木材としての利用を避けられていたようです。欧米では古くから利用されてきたため、明治以降は

「ジャパニーズオーク」の名で海外にも輸出されました。

特に、ウイスキーの樽はナラ材が持っているタンニンやポリフェノール類などの成分が、ウイスキー独特の香味をつくります。

オーク材の樽（アメリカンオーク、ヨーロッパオーク）で貯蔵するとフルーツのような香りをつけた味わいに、バーボン樽で熟成するとバニラやカラメルのような甘い味わいに、ミズナラの樽は白檀（びやくだん）や伽羅（きゃら）を思わせる特有の味わいになると言われています。

是非、今宵はミズナラの樽で貯蔵されたウイスキーを味わってみてはいかがでしょうか。（Ⅲ）



コナラの樹皮



ナラ材の木目

# フォレストサポートスタッフ (FSS) 委嘱証明書交付式

高尾森林ふれあい推進センターが実施する森林教室や森林カレッジ等のイベントをサポートしていただく森林ボランティアスタッフ「フォレストサポートスタッフ（FSS）」の委嘱証明書交付式を4月13日（土）に当センター1階の展示室において実施しました。

この制度は、森林管理局署等において森林教室や体験林業等の実施にあたり、森林・林業や森林環境教育に造詣を有する者や、イベント等の実施業務に係る協力者に、イベントスタッフとして関東森林管理局長が委嘱する制度で委嘱期間は1年です。

平成31年度は37名（新委嘱者1名を含む）に委嘱され、出席いただいた25名に当センター所長から委嘱証明書を交付しました。その後は、FSSの制度、実績と計画の説明、安全講習等を行いました。

当センターが開催する森林教室等には毎回ご協力を頂き、当センターにとっては欠かせない存在となっております。今年度もフォレストサポートスタッフの協力を頂きながら、より良い森林環境教育の実施に取り組んで参りたいと考えています。（田）



FSS要領の説明



イベント実績と計画を説明



安全講習



委嘱証明書を交付



熱心に説明を聞き入るスタッフの皆さん

## 森林カレッジの受講生が決定いたしました。

毎回好評の森林カレッジについて、受講生が決定いたしました。応募いただきました皆様、ありがとうございました。集合時間や場所などは、開催前に詳細を連絡いたします。

残念ながら抽選から漏れてしまった方におかれましては、来年度ぜひご応募いただきますようお願いいたします。



### 今年度の森林カレッジは以下の4回です

※日程年を新元号「令和」に修正しています

### 平成30年度森林カレッジの様子

#### 【カレッジⅠ】

日程 令和元年5月18日（土）

内容 講義「森林の見方」  
森林散策

講師 一般社団法人 森林・自然環境技術者教育会  
会長 桜井 尚武 氏



#### 【カレッジⅡ】

日程 令和元年7月20日（土）

内容 講義「森に学ぶ～森づくり ことづくり  
ひとづくり～」  
体験作業（下草刈り）

講師 東京農業大学 教授 宮林 茂幸 氏



#### 【カレッジⅢ】

日程 令和元年10月12日（土）

内容 講義「木の成長としくみ」  
体験作業（間伐）

講師 元多摩森林科学園 園長 三輪 雄四郎 氏

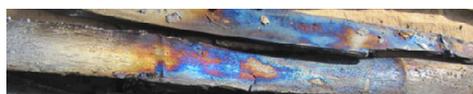


#### 【カレッジⅣ】

日程 令和2年1月18日（土）

内容 講義「森林の恵みと共に～炭焼き、そして  
森林の香り～」  
体験作業（炭焼き）

講師 東京大学名誉教授 谷田貝 光克 氏



## 森林教室 中央区立 佃島小学校

好天に恵まれた4月19日（金）、中央区立佃島小学校5年生100名が、森林ふれあい館に来館。森林教室を行いました。

当日は児童を2グループに分け、第1グループは午前中に森林学習（座学）と丸太切り体験を、第2グループは森林散策をそれぞれ実施、午後は内容を入れ替えてそれぞれ実施しました。

森林学習では、森林に暮らす生き物や森林の持つ働きについて職員から説明を受け、丸太切りでは普段体験できない鋸を使った作業に汗を流していました。丸太切りは、楽しくて何回もチャレンジした児童もいたようです。

森林散策では、実際に現地を歩きながら間伐前後の林内状況の違いや、水を蓄える働きなどを実感として感じとってもらったり、若葉を揉んで香りを楽しんでもらいました。

閉校式では「丸太切りは思ったより大変でした」「珍しい生き物を見ることができて良かった」等の感想を児童から頂きました。（磯）



丸太切りって楽しいね！



おたまじゃくしだ！

## いろはの森コースと万葉句碑

本年5月1日より新元号となりました。

出典は万葉集巻五 梅花の歌三十二序「于時初春令月 氣淑風和」から選ばれたとのこと。これを機に、万葉集を手にする方々が増えそうです。

ちなみに、この宴の席で詠われた32首の中に、「梅の花 夢に語らく みやびたる

花と我思う 酒に浮かべこそ」というきれいな歌があります。意味が気になる方は解説本などからご確認ください。

巻は異なりますが、「いにしへの 人の植えけむ 杉が枝に 霞たなびく 春は来ぬらし」（昔の人が植えたというこの杉木立の枝に）という歌があります。この歌は、万葉の時代以前から杉の植林が行われていたことを示す貴重な歌だと思えます。

高尾山にも万葉集に詠まれている植物が存在します。日影沢キャンプ場から山頂へ伸びる歩道「いろはの森コース」には、万葉集に詠まれた植物の横に句碑が立てられています。ハイキングの際にお楽しみいただければ幸いです。（高）



「いろはの森」句碑

### 編集後記

春のこの時期は、様々な植物が芽を出したり花を咲かせています。日頃見慣れている植物でも、改めて観察することで新たな発見があるかもしれません。



ヒメハギ

### Forest通信 NO363

発行：林野庁関東森林管理局  
高尾森林ふれあい推進センター

ご意見・ご要望・イベントのお申込み・お問合わせ先  
高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844 東京都八王子市高尾町2438-1  
TEL 050-3160-6040 FAX 042-663-7229  
<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>

